

# 令和6年度 放課後等デイサービス たんぽぽ 自己評価表

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制 整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	5	0	0	・目が届かない場所や屋外の把握が難しい時がある。
	2	職員の配置数は適切であるか	4	1	0	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	1	1	3	・施設内に階段がある。 ・トイレ等はバリアフリー化している。
業務 改善	4	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	5	0	0	・利用日毎、月に一度カンファレンスを実施し、確認している。 ・定期的な会議(職員、スタッフ)を実施した。 ・活動終了時に振り返りを行なっている。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	4	0	1	・一年に一度実施している。 ・保護者向けアンケートの実施をしている。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	3	0	2	・ホームページで公開している。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	1	1	3	・第三者外部評価は受けていない。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	5	0	0	・個々のあrawれを心理士によるフィードバックの機会を設け、カンファレンスで振り返りをするようにしている。 ・内部研修や、外部研修、全体研修、指定研修へ参加している。
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	5	0	0	
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	1	0	4	・事前に家庭からアセスメントシートで情報を得ている。 ・必要に応じて心理士が行う発達検査を実施し、子どもの状況を把握している。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	4	0	1	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	5	0	0	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	4	0	1	

14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	4	0	1	・利用日の子どもの状況に応じて検討している。
15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	5	0	0	・事前カンファレンスを実施している。
16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	5	0	0	・良いあrawれを共有している。 ・事後カンファレンスを実施している。
17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	5	0	0	・個別支援計画に沿った記録の記入をしている。 ・見聞録上へ記録している。

18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	4	0	1	・半年に一度実施している。	
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	3	0	2	・年度始めに職員で確認したうえで、活動に反映させている。	
関係 機関・ 保護者 との 連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	3	0	2	・出来るかぎり参加し、支援内容を伝えたり情報共有をしている。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	5	0	0	・学校の引継ぎの際、先生から日中の報告を受けている。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	0	1	4	・医療的ケア児を受け入れていない。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	2	0	3	・相談員を通じて行っている。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	4	0	1	・必要に応じて移行支援会議へ参加している。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	3	0	2	・必要に応じて相談、助言をもらっている。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	0	3	2	・通常学級との交流はしていない。 ・公園等で時々地域の子どもと交流する事がある。

	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	3	1	1	・担当職員が参加している。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	4	0	1	・家庭のお迎えの際、今日の様子や、良かった事をお伝えしている。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	0	1	4	・ペアトレーニングは行っていない。個別相談に応じて、情報共有をしている。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	2	1	2	・毎年3月の面談時、契約更新と同時に説明を行っている。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	3	0	2	・相談があった時は即答しないで、職員に伝えるようにしている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	5	0	0	保護者対象の座談会を企画し、連携やネットワーク構築に向けた支援をしている。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	3	1	1	・職員間で共有、対応策を考えている。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	4	0	1	・会報は発行していない。 ・会報は作成していないが、活動の様子等を館内に掲示している。
	35	個人情報に十分注意しているか	5	0	0	
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	4	1	0	・分かりやすく、明るく伝える。 ・写真や絵カード等視覚的な提示を行い、見通しがつくよう支援している。
37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	4	1	0	・東遠学園組合主催の「丘のうえフェスタ」に案内し、地域交流の場としている。	
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	4	0	1	・各種マニュアルを周知出来ていなかった。次年度に実施したい。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	4	0	1	・最近出来ていない時がある。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	4	0	1	・セルフチェックを実施している。 ・リスクマネジメントを実施している。職員集団として意識向上に努めている。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	2	0	3	急な自傷等がある時は安全確保をしている。

	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	5	0	0	・家庭より医師の指示書に基づいた対応方法の引継ぎを受けている。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	5	0	0	・会議で確実に周知していく。
実践	44	子どもの事がわからないと感じた時に、早わかりしようとせずに、どうしてなのか？と自らに問い続けているか？	3	1	1	職員に相談している。
	45	子どもの事がわからないと感じた時に、傍観するのではなくて、働きかけて変化を作りだし、理解しようとしているか？	3	1	1	良い結果が得られると思った時のみ働きかけてみる。
	46	子どもの事がわからないと感じた時に、独りよがり判断をせずに、他の職員に意見を聞く等しているか？	4	1	0	
	47	子どもの”問題行動”に出会う時に、その内側に、その子の本当の願いが隠されていると考えて、内面を探ろうとしているか？	4	0	1	自分も考え、他のスタッフにも相談している。
	48	子どもの”問題行動”に出会う時に、わが身に引き寄せるなどして、その理由を共感的に理解しようとしているか？	4	1	0	
	49	子どもの表面的な事柄を並べるのではなくて、働きかけて、肯定的な事実を作り出し、それを意味づけようとしているか？	3	1	1	
	50	気持ちの育ち(人格の形成)には、その子固有のテンポがあるという事を押さえて、子どもを理解しようとしているか？	5	0	0	
	51	子どもの発達、ひたすら前進するのではなくて、新しい矛盾を抱え込むと押さえて、子どもを理解しようとしているか？	5	0	0	
	52	学校で頑張ってきたあとの活動という、生活の流れを意識して、子どもを理解しようとしているか？	5	0	0	
	53	大人の目の育ちに応じてしか子どもは見えてこないという自省的な意識を持って、子どもを理解しようとしているか？	3	1	1	日々研鑽するよう心掛けている。
	54	遊びや生活を通じて、子どもの内面を通じて、こどもの気持ちの育ち(人格の形成)をはかっていくことを意識して、子どもに働きかけているか？	6	0	0	